



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 朝日ラバー

コード番号 5162 URL <http://www.asahi-rubber.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部企画グループ長

(氏名) 久保田 敬之

TEL 048-650-6051

四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,370	△3.9	121	13.8	121	3.5	86	△48.9
27年3月期第3四半期	4,546	8.4	106	△55.5	117	△54.9	169	16.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 84百万円 (△60.0%) 27年3月期第3四半期 212百万円 (△6.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	19.09	—
27年3月期第3四半期	37.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	9,009	3,562	39.5	797.64
27年3月期	9,184	3,610	39.3	794.03

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,562百万円 27年3月期 3,610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	10.00	13.00
28年3月期	—	3.00	—		
28年3月期(予想)				10.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,870	△3.1	200	74.4	200	63.6	140	△57.4	31.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料2ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	4,618,520 株	27年3月期	4,618,520 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	152,512 株	27年3月期	70,912 株
----------	-----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	4,529,175 株	27年3月期3Q	4,547,619 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想値に関する事項は添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2020年を見据えたビジョン「AR-2020 VISION」を策定し、平成26年4月からスタートした新中期三カ年計画を「V-1計画」と位置付け、「技術革新を基盤に新しい価値を創造し続ける企業となる」をコンセプトに、重点事業領域を自動車・医療・ライフサイエンスの3つとし、各事業分野で事業基盤の整備と強化、収益の柱となる主力製品の受注拡大、当社技術を活かした新製品の創造を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は顧客の在庫調整の影響等により43億7千万円（前年同四半期比3.9%減）となりました。利益面では、販売減の影響があったものの、前年同期には役員退職慰労引当金繰入額の計上があったことから連結営業利益は1億2千1百万円（前年同四半期比13.8%増）、連結経常利益は1億2千1百万円（前年同四半期比3.5%増）、一方、前年同期には受取保険金の計上があったことから親会社株主に帰属する四半期純利益は8千6百万円（前年同四半期比48.9%減）となりました。

また、第1四半期連結累計期間より「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、自動車関連製品においては、ASA COLOR LEDの受注は第1四半期までは自動車メーカーの販売・生産計画調整の影響を受け減少しておりましたが、第2四半期以降には販売単価は下落傾向であるものの、海外向けの受注量が増加いたしました。一方、機能製品であるRFIDタグ用ゴム製品は海外向けの受注が新機種対応で在庫調整が続いていることから大きく減少いたしました。スポーツ用ゴム製品である卓球ラケット用ラバーの受注についても第3四半期に入り回復基調であるものの、第2四半期までの顧客在庫調整による影響で減少いたしました。

また、マイクロ流体デバイス関連の受注は前年同期比微増となりました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は35億6千2百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。またセグメント利益は1億9千9百万円（前年同四半期比44.6%減）となりました。

医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、プレフィルドシリンジガasket及び採血用・薬液混注用ゴム栓を販売している一部顧客の生産調整の影響により、売上高は減少いたしました。一方、前年同四半期には一部の製品において品質管理に係るコスト増等があったことから営業費用は大幅に減少いたしました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は8億8百万円（前年同四半期比8.0%減）となりました。セグメント利益は8千3百万円（前年同四半期比47.6%増）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて1億7千5百万円減少し、90億9百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて1億2千6百万円減少し、54億4千7百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金、役員退職慰労引当金の減少であります。

純資産は前連結会計年度末に比べて4千8百万円減少し、35億6千2百万円となりました。その主な要因は、自己株式の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年2月8日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(2) 会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,300,124	2,499,547
受取手形及び売掛金	1,732,112	1,611,790
電子記録債権	66,845	98,627
商品及び製品	162,566	157,455
仕掛品	236,838	196,517
原材料及び貯蔵品	100,752	82,211
その他	472,687	300,839
貸倒引当金	△1,612	△1,523
流動資産合計	5,070,315	4,945,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,126,211	1,058,685
機械装置及び運搬具(純額)	1,168,001	1,142,051
土地	887,802	887,802
その他(純額)	165,848	174,467
有形固定資産合計	3,347,864	3,263,007
無形固定資産	9,608	9,628
投資その他の資産		
その他	760,492	795,099
貸倒引当金	△3,422	△3,422
投資その他の資産合計	757,070	791,677
固定資産合計	4,114,543	4,064,313
資産合計	9,184,858	9,009,779
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	599,296	369,037
電子記録債務	443,521	588,348
短期借入金	15,914	—
1年内返済予定の長期借入金	996,655	1,132,096
未払法人税等	148,945	9,105
役員退職慰労引当金	358,968	—
その他	439,584	381,134
流動負債合計	3,002,886	2,479,722
固定負債		
長期借入金	1,933,419	2,281,999
役員退職慰労引当金	101,532	111,137
退職給付に係る負債	517,834	535,087
その他	18,241	39,572
固定負債合計	2,571,027	2,967,796
負債合計	5,573,914	5,447,518

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	457,970	457,970
利益剰余金	2,415,546	2,442,883
自己株式	△45,739	△120,240
株主資本合計	3,344,646	3,297,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142,368	149,537
為替換算調整勘定	123,929	115,240
その他の包括利益累計額合計	266,297	264,777
純資産合計	3,610,944	3,562,260
負債純資産合計	9,184,858	9,009,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	4,546,811	4,370,692
売上原価	3,394,468	3,341,225
売上総利益	1,152,342	1,029,467
販売費及び一般管理費	1,045,879	908,325
営業利益	106,463	121,141
営業外収益		
受取利息	1,094	1,351
受取配当金	5,756	5,987
為替差益	5,659	—
雑収入	15,102	12,740
営業外収益合計	27,613	20,079
営業外費用		
支払利息	13,880	12,005
複合金融商品評価損	—	4,447
雑支出	2,961	3,429
営業外費用合計	16,842	19,882
経常利益	117,234	121,338
特別利益		
補助金収入	58,466	72,400
受取保険金	114,891	—
特別利益合計	173,357	72,400
特別損失		
固定資産除却損	11,932	1,252
固定資産圧縮損	56,674	67,335
特別損失合計	68,607	68,587
税金等調整前四半期純利益	221,984	125,151
法人税等	52,939	38,694
四半期純利益	169,044	86,456
親会社株主に帰属する四半期純利益	169,044	86,456

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	169,044	86,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,988	7,168
為替換算調整勘定	△2,717	△8,688
その他の包括利益合計	43,270	△1,520
四半期包括利益	212,315	84,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212,315	84,936

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,667,510	879,301	4,546,811
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,667,510	879,301	4,546,811
セグメント利益	360,496	56,506	417,002

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	417,002
全社費用(注)	△310,539
四半期連結損益計算書の営業利益	106,463

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,562,146	808,545	4,370,692
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,562,146	808,545	4,370,692
セグメント利益	199,621	83,385	283,006

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	283,006
全社費用(注)	△161,864
四半期連結損益計算書の営業利益	121,141

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。